学校番号	1005

令和２年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２、３年次
使用教科書	「書Ⅱ」　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰで習得したものを基礎として、古典に親しみをもち多種多様な表現技法を体得した上で、自分のめざす表現を明確にして作品制作をしていきましょう。
・書道Ⅰでの進歩を生かし、それをさらに１年間をとおして更に進歩できるよう積極的に学習に取り組みましょう。
・書道Ⅱの学習を終え、手書き文字の魅力を少しでも感じ取れるよう書道を身近な存在として愛好していく心情を身に付けましょう。

２　学習の到達目標

・表現と鑑賞を有機的に関連させて展開される書道の創造的な諸活動をとおして書を愛好する心情を育てるとともに感性をさらに高めていく。
・書の文化や伝統について理論的な側面を含めて理解を深め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばしていく。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	・書を愛好し、古典の学習をとおして書の文化や伝統についての理解を深めようとしているか。 ・書の学習をとおして、意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとしているか。	感性を高め、書の学習をとおして、個性豊かな能力を伸ばし、創造的な表現を工夫しているか。	書において個性豊かな表現をするために、幅広い表現理論と技能を身に付けているか。	古典の学習をとおして書の歴史や文化について理解し、鑑賞の活動の中で書の美を分析的、総合的に捉え、そのよさや美しさを味わっているか。
評価方法	・観察 ・「学習記録」の記入状況 ・提出作品	・観察 ・「学習記録」の記入状況 ・提出作品	・観察 ・「学習記録」の記入状況 ・提出作品	・観察 ・「学習記録」の記入状況 ・提出作品 ・学年末考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	篆書 篆刻と刻字	さまざまな篆書 石鼓文の鑑賞と臨書 印の歴史(中国・日本) 印の章法について 刻字の鑑賞	○			○	a:最も古い書体に関心をもち意欲的に表現や鑑賞を行い、その喜びを味わおうとしている。 b:篆書の用筆を習得し、感性を高め創造的な表現を工夫している。 c:刻字の章法を理解し幅広い表現理論や技能を身に付けている。 d:習字の実態を伝える作品を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 「学習記録」の記入状況 提出作品
	隷書 作品制作Ⅰ	さまざまな隷書 乙瑛碑の鑑賞と臨書 漢代木簡の鑑賞と臨書 石門頌の鑑賞と臨書 鮮于璜碑の鑑賞と臨書 自らが個性の発揮できる古典を選択して半切1/2に臨書する		○		○	a:時代背景により様々な隷書の書きぶりがあることに関心をもち、意欲的に表現や鑑賞を行い、その喜びを味わおうとしている。 b:隷書の用筆を生かし、感性を高め創造的な表現を工夫している。 c:様々な隷書の古典を鑑賞し、臨書をとおして幅広い表現理論と技能を身に付けている。 d:漢代木簡から隷書の筆遣いが顕著に顕れていることを理解し臨書からその美しさを味わっている。	観察 「学習記録」の記入状況 提出作品

2学期	硬筆(行書)	書道Ⅰの振り返りを踏まえ、幅広い行書の表現理論と鑑賞 (夏季休業中の課題としても扱う)		○		○	a:書道Ⅰの行書をさらに向上し、同じ読みでもくずし方を異にする幅広い表現を主体的に味わおうとしている。 b:行書の特徴を踏まえ、感性を高め、気脈・結構法・抑揚をつけ創造的な表現を工夫している。 c:楷書を行書に変換するルールを理解し個性を生かした行書の幅広い表現理論と技能を身に付けている。 d:楷書から行書への変換過程を踏まえ、様々な表現方法を体得し分析的にその美しさを味わっている。	観察 「学習記録」の記入状況 提出作品
	作品制作Ⅱ 草書	草書の成立 草書の鑑賞と臨書 十七帖の鑑賞と臨書 国申文帖の鑑賞と臨書 十七帖を半切1/2に臨書する		○		○	a:草書の成立過程を理解し表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとしている。 b:筆順と字形を草書の代表的な古典から習得し創造的な表現を工夫している。 c:草書の古典を個々が選択し鑑賞と臨書をとおして幅広い表現理論と技能を身に付けている。 d:草書と４書体を比べてどのような特徴があるかを古典から鑑賞し草書の持つ美しさを味わっている。	観察 「学習記録」の記入状況 提出作品
	作品制作Ⅲ 行書	集王聖教序の鑑賞と臨書 祭姪稿の鑑賞と臨書 蜀素帖の鑑賞と臨書 普祠銘の鑑賞と臨書 自らが個性の発揮できる古典を選択して半切1/2に臨書する		○	○	○	a:代表的な行書の古典の鑑賞と臨書をとおして主体的にその喜びを味わおうとしている。 b:各古典の書風を味わい用筆を習得し感性を高め創造的な表現を工夫している。 c:行書の古典を個々が選択し鑑賞と臨書をとおして幅広い表現理論と技能を身につけている。 d:個々が選択した行書の古典をとおして、行書の魅力や美しさを味わっている。	観察 「学習記録」の記入状況 提出作品

	楷書 作品制作Ⅳ	皇甫誕碑の鑑賞と臨書 顔勤礼碑の鑑賞と臨書 魏霊蔵造像記の鑑賞と臨書 自らが個性の発揮できる古典を選択して半切1/2に臨書する		○		○	a:古典の歴史的背景を理解し異にする楷書の書風や用筆に関心をもち主体的にその喜びを味わおうとしている。 b:各古典の書風を味わい用筆を習得し感性を高め創造的な表現を工夫している。 c:楷書の古典を個々が選択し鑑賞と臨書をとおして幅広い表現理論や技能を身に付けている。 d:個々が選択した行書の古典をとおして、楷書の魅力や美しさを探り味わっている。	観察 「学習記録」の記入状況 提出作品
3学期	仮名	仮名の種類 仮名の書の特徴 高野切第一種の書風 高野切第一種の臨書と短冊の書式 三色紙の鑑賞と散らし書き	○	○	○		a:書道Ⅰの学びを踏まえ、変体仮名の種類について関心を持ち主体的にその喜びを味わおうとしている。 b:高野切のそれぞれの書風を理解し感性を高め、高野切第一種の臨書における表現を工夫している。 c:散らし書きの様式を理解した上で個性を生かした幅広い表現理論と技能を身に付けている。	観察 「学習記録」の記入状況 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。